

サイバーセキュリティや IoT 人材育成の観点から、県立大学での取組や県内企業と連携した取組についてお尋ねします。

来年から、無線通信システムが5G(ファイブ・ジェネレーションの略)、第5世代移動通信システムへ移行する。日々活用しているスマートフォンの通信速度が約100倍になり、IoT(インターネット・オブ・シングス)が促進され、様々な新しいサービスが生まれる。あらゆるものがインターネットとつながり、車の自動運転、各種遠隔サービスの実現、スポーツ観戦時のリアルタイムハイライトなど、便利で新しいサービスを享受することができるようになる。便利になっていく一方で、サイバー空間でのセキュリティについて、人材は全国的にも不足。長崎県立大学では、全国唯一のサイバーセキュリティ専門学科を保有し、長崎大学では、来年の令和2年4月に、情報系の新たな学部が設置されると聞いている。セキュリティや IoT 人材育成の観点から、県立大学での取組や県内企業と連携した取組について、お尋ねする。

警察本部長答弁

サイバー犯罪は、全国的に増加傾向にあり、多様化、悪質化、巧妙化している。平成30年、県警察が検挙したサイバー犯罪は95件で、過去最高となり、相談件数も、ここ数年、2,500件以上と高止まりの状況。直近の県政世論調査においてもサイバー犯罪は、特殊詐欺とほぼ並び、不安に感じる犯罪として挙げられている。本年4月1日、サイバー犯罪対策課を新設。取締り体制の強化や県民の被害防止対策の推進を図っているが、議員ご指摘のとおり、長崎県立大学をはじめ、すぐれた知見を有する県内外の産官14の機関で「長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定」を締結し、サイバーセキュリティ人材の育成も含め、安全・安心なサイバー空間の構築を社会全体を目指す協力体制を確立し、取組を強化していく。



総務部長答弁

長崎県立大学においては、情報セキュリティ技術者の育成に特化した学科を平成28年4月に設置した。サイバーセキュリティ対策を学ぶための専用の演習室を整備し、サイバー攻撃を実際に体験し、それに対する防御方法を学ぶ。より実践的な教育を通して情報セキュリティのプロとして、高い専門性を持ち、実社会で即戦力として活躍できる人材の育成に力を入れている。また、県内の大学や情報関連企業の皆様と連携し、サイバーセキュリティに関する研究会を立ち上げており、セミナーの開催や情報交換などを行なながら、県内の情報関連産業が求める人材の育成にも取組んでいる。



下条博文の活動 –地域に根ざした活動–



▲8月9日長崎平和式典に参列された安倍晋三総理に県議活動のご報告



▲地域の児童支援施設で交流



▲長崎市議の皆様と市民活動に参加



▲総務委員会の視察にて島原・原城跡



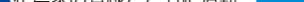
▲県内の若手事業者の皆様と交流



▲地元の皆様と市民体育祭へ



▲地域の皆様とコミュニケーション



▲花農家の皆様とともに活動



長崎県政へ熱い 下条 博文 事務所
しもじょう ひろふみ
想いを届けます。
TEL: 095-844-7769
FAX: 095-844-6278
〒852-8131
長崎市文教町5-17

WEB | <http://shimojo007.com>

下条博文

検索



長崎県議会議員 県政レポート

Vol.04【2019年10月号】

1. 人口流出対策
2. 介護人材確保対策
3. 九州新幹線西九州ルート全線フル規格について
4. ICTを活用した経済対策
5. V・ファーレン長崎新スタジアム設立に伴った
交流人口拡大について



長崎県議会議員 下条博文 初の一般質問 / 答弁

令和元年6月25日（火）午前11時15分ごろ



6月議会において、自由民主党・長崎市選出「下条博文議員」は県議として初の一般質問を行いました。内容は、社会問題、経済対策、ICT、福祉など5項目。人口流出対策、介護人材確保対策、V・ファーレン長崎新スタジアム設立に伴った交流人口拡大についてなど、知事はじめ各部局の皆様と充実した質疑応答を行うことができました。（主な質問は下記の通り）

1. 人口流出対策
2. 介護人材確保対策
3. 九州新幹線西九州ルート全線フル規格について
4. ICTを活用した経済対策
5. V・ファーレン長崎新スタジアム設立に伴った交流人口拡大について

日本人の転出超過数上位5自治体 ※順位カッコ内は前年

順位	自治体名	転出超過数（人）
1 (3)	長崎市	2,376
2 (1)	北九州市	1,674
3 (4)	那覇市	1,636
4 (2)	堺市	1,522
5 (5)	神戸市	1,520



知事答弁

企業誘致した件数は12件（雇用計画数は1,111人）。近年は、金融・保険、研究開発、情報通信関連系のオフィス系企業の誘致に力を入れ、本県の強みである優秀な人材や、受け皿として整備した「クレインハーバー長崎」が高い評価を受けたことなどにより大手情報通信系企業の誘致が実現するなど、成果も見えはじめている。今後とも、若者に魅力のある良質な雇用の場と新たな基幹産業の創出のため、ソフトウェア開発や金融・IT部門、ロボット、IoTや航空機関連産業など、今後、成長が見込まれる分野の企業誘致に力を注いでまいりたい。

下条県議再質問

非常にネガティブな話だが、長崎市において転出超過が全国ワースト1位となった。この報道により県民の皆さん、人口流出についてアンテナを張っているし、非常に気にしている。今、意識が高い状況の時に、効果的に、県として、広報を通じ、観光資源や人の良さなど、数多ある「長崎の魅力」を伝えていただきたい。私の要望は、一過性のものではなく、しっかりととした戦略的な「長崎のグランドデザイン」を構築して、広報を効果的に使い、今アンテナを張っているこの時に効果的に伝えてほしい。

介護業界の深刻な人手不足。外国人材とITテクノロジーを駆使した介護ロボットの積極的な導入の支援は？



介護業界において働き手不足が深刻。例えば、介護デイサービスなど、厚生労働省が定める人員配置基準を満たすことができなければ、サービスを停止し、撤退をせざるを得ない状況になる。処遇改善対策の効果で、待遇は一定改善されているものの、抜本的解決には至っておらず、特に、若者の労働力が著しく不足。外国人技能実習生受入れと、排せつ・入浴支援、見守りセンサー付きカメラなど、いわゆる介護ロボットや、例えば、入居者や利用者の状況について、アプリケーションを用い、各端末で確認ができるインターフェースなど、ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）情報通信技術の導入促進について、お尋ねする。

福祉保健部長答弁

技能実習制度について、本県の介護分野にて昨年10月に、はじめてスリランカから受入れて以来、これまでインドネシアやベトナムから計8名の技能実習生の受入れを確認。今後とも、介護事業所がスムーズに外国人介護人材の受入れができるよう支援に努める。次に、介護ロボット、ICT導入促進について、昨年度、実態調査を実施。「夜勤業務の身体的、精神的な負担軽減」や「作業時間の短縮」等に効果ありと回答を得た。そのため県内の事業所に対し、導入促進セミナーと県内外の事業所見学会を開催し、機器導入を促進を図る。本年度は、職場環境や業務改善等、地域内でモデル的な機器を導入する事業所に対し、その経費の一部を助成する等、機器導入を県内事業所に広く周知する。



初めての登壇、緊張しましたが、選挙活動でお訴えしてきた諸課題について、県民・市民皆様の声を県政へ代弁させていただきました。（長崎県庁本議会にて）

長崎に住んでいる我々が、もっと長崎の観光資源を楽しむことができるような場つくっていただきたい！

三菱重工幸町工場跡地に「民間主導でスポーツを通して地域創生事業に取り組む」V・ファーレン長崎の新しいスタジアムを設立予定。500～600億円を投資し、アリーナや商業施設、マンション、ホテルを併設。スタジアムは、約2万5,000人程度を収容可能。2023年の開業を目指すプロジェクト。このV・ファーレン長崎新スタジアム設立は、産業の資源として大変大きな活動であると認識している。現行している稻佐山から新スタジアムまでロープウェイを延伸し、新しい観光資源を創出する計画もあると聞いた。長崎ロープウェイ延伸など、スタジアム設立に伴う交流人口拡大について、県としてのスタンスをお尋ねする。



土木部長答弁

三菱重工業幸町工場跡地において、ジャパネットグループが計画している「長崎スタジアムシティプロジェクト」、良質な雇用の場の確保や交流人口の拡大、長崎の魅力向上に寄与し、本県の活性化に期待できることから、県としても実現に向け協力したいと考えている。そのため、副知事をトップとする「長崎スタジアムシティプロジェクト推進会議」を設置。支援策の方向性について全庁的な議論を行っているほか、各関係部局においても、必要に応じて事業者と協議を行い、具体的な支援内容の検討を進めている。これまでに、県と長崎市で民間の都市開発事業に対する税制優遇措置がある「都市再生緊急整備地域」の指定に向けて国と協議を行い、本年3月に、内閣府から候補地域の指定を受けたところ。その他にも周辺道路の交通対策やオフィスへの企業誘致、イベントの誘致などについて、県としてできる限り支援してまいりたいと考えています。

下条県議再質問

ロープウェー延伸について、V・ファーレン長崎がご提案させる前から、長崎の新三大夜景を、市民、県民の皆様がゆっくり楽しめる場を造つたらいいんじゃないかなと思っていたけれども、これを高田旭人社長が言っていただけで、私の声を代弁してもらったような気がします。長崎は、新三大夜景をはじめ、2つの世界遺産（軍艦島／長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産）など様々な観光資源を持っているが、長崎に住んでいる我々が、もっとこの観光資源を楽しむことができるような場を、県としても、ぜひ積極的につくっていただきたいとご要望します。



九州新幹線西九州ルートは全線フル規格を！

九州新幹線西九州ルート全線フル規格化に向け、佐賀県との友好的な関係維持も含め、直接以下の方々へ陳情を行った。長崎県選出の与党国会議員の皆様安倍晋三総理大臣、二階俊博自民党幹事長、岸田文雄自民党政調会長、山本幸三与党検討PT委員長。知事におかれましては、長崎県が一丸となって、目標が達成できるよう特段のご尽力を賜りますよう、ご要望します。



写真はイメージです。